

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 29 日(2024.5.29)

【公開番号】特開 2024-28593(P2024-28593A)
【公開日】令和 6 年 3 月 4 日(2024.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2024-040
【出願番号】特願 2024-8663(P2024-8663)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/126(2014.01)

10

H 0 4 N 19/136(2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/126

H 0 4 N 19/136

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 5 月 14 日(2024.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デコーダが実行するビデオ復号の方法であって、

ピクチャにおけるセグメントについての調整値を得るステップと、

符号化ビデオビットストリームから、前記符号化ビデオビットストリームにおける前記ピクチャについての、ピクチャレベルにおける初期量子化パラメータ(QP)値の調整バージョンのシンタックスエレメントを復号するステップであって、前記ピクチャレベルにおける前記初期QP値は、 $[-(26+QpBdOffset), +37]$ の範囲内にあり、前記ピクチャレベルにおける前記初期QP値の前記調整バージョンは、 $[-QpBdOffset, +63]$ の範囲内にあり、前記QpBdOffsetは、輝度量子化パラメータ範囲オフセットの値を含む、ステップと、

30

前記初期QP値及び前記セグメントについての前記調整値に基づいて、前記セグメントにおけるブロックについてのQP値を決定するステップと、

前記ブロックの決定された前記QP値に従って、前記ブロックの量子化データに対して逆量子化を実行するステップと、

を含む、方法。

【請求項 2】

ビデオ復号の装置であって、

40

プログラムを記憶しているメモリ；及び

前記メモリに接続されるプロセッサを含み、

前記プロセッサは、前記プログラムを実行して、請求項 1 に記載の方法を実現するように構成される、装置。

【請求項 3】

コンピュータに、請求項 1 に記載の方法を実行させるためのプログラム。

【請求項 4】

エンコーダが実行するビデオ符号化の方法であって、

ピクチャにおけるセグメントについての調整値を得るステップと、

符号化ビデオビットストリームにおける前記ピクチャについての、ピクチャレベルにお

50

ける初期量子化パラメータ(QP)値の調整バージョンのシンタックスエレメントを前記符号化ビデオビットストリームに符号化するステップであって、前記ピクチャレベルにおける前記初期QP値は、 $[-(26+QpBdOffset), +37]$ の範囲内にあり、前記ピクチャレベルにおける前記初期QP値の前記調整バージョンは、 $[-QpBdOffset, +63]$ の範囲内にあり、前記QpBdOffsetは、輝度量子化パラメータ範囲オフセットの値を含む、ステップと、前記初期QP値及び前記セグメントについての前記調整値に基づいて、前記セグメントにおけるブロックについてのQP値を決定するステップと、前記ブロックの決定された前記QP値に従って、前記ブロックに対して量子化を実行して前記ブロックの量子化データを生成するステップと、を含む、方法。

10

【請求項 5】

ビデオ符号化の装置であって、プログラムを記憶しているメモリ；及び前記メモリに接続されるプロセッサを含み、前記プロセッサは、前記プログラムを実行して、請求項 4 に記載の方法を実現するように構成される、装置。

【請求項 6】

コンピュータに、請求項 4 に記載の方法を実行させるためのプログラム。

20

30

40

50